**オリエンテーション委員会**

委員長　　　　中野　雄介

副委員長　　　加藤　信宏

**1）基本方針**

四日市青年会議所は成長の機会がある中で、多くの会員が自身の目的をもち活動しています。青年会議所運動は、目的をもつ会員による主体的な活動が欠かせません。しかし、目的意識はあっても、活動とのつながりに気づかない会員がいるのも事実です。それが明確になり行動が変われば、より良い社会の実現には多くの仲間が必要だと理解できます。個人の主体的な行動により活動の共感を広め、共に高め合う仲間を増やす必要があります。

まず、共感を生み仲間を増やすために、青年会議所と連携する団体を招き、自身の経験を自身の言葉で伝えることが会員拡大に結び付くことを学びます。会員が自身の経験を踏まえ、四日市青年会議所の目的と自身の目的を伝えられるようになり、自ら進んで取り組む会員拡大の輪が広がります。そして、自身が目指す将来像と目的意識を描くために諸先輩方の経験の共有を通し、交流の場を設けます。個々の将来像に向かう意識が成長する行動力に変わり、候補者にも共感が広がることで、理想を実現しようとする青年の前向きな変化が成長へとつながります。さらに、会員の多様な発信力を引き出すために、対外参加者と対話を通じて多様な考えを共有し、相互が学べる場を設けます。ともに考えることで、四日市青年会議所のもつ可能性を具体化し、互いに新たな価値観を育むことができます。また、新入会員も含め全会員が学ぶことで、実践できるように年間の研修計画を策定し、既存の良さを磨き、より良い仕組みで運用します。会員が相互に新たな成長を重ね、入会して間もない会員は経験を重ねた将来像が、成長した姿と入会した価値を実感します。

会員一人ひとりが主体的に動き、目的を語り、相手に寄り添うことで互いの理解が深まり、多くの仲間が集まることで幅広い運動につながります。将来像に共感し、互いの想いが互いの挑戦を支え合い、学びと成長による良い変化が続く四日市青年会議所になります。

**2）事業計画**

1.目的意識と会員拡大による組織づくり　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 通年

2.2月度例会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 2月16日

3.5月度例会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 5月15日

4.9月度例会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 9月8日

5.JCプログラム

6.対外事業窓口（献血）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 1月、7月

7.出向者への支援　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 通年

8.同好会への支援　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 通年

**3）事業予算**　　　 241,500円

**4）委員会開催予定日** 毎月第2火曜日

第二回正副理事長予定者会議　2025年10月15日(水)

意見1：L2「しかし」なくても文章は通じるのではないでしょうか。

対応1：現状から文章を展開させるための表現でしたが、唐突に感じますので表現を変更しました。

意見2：上段、拡大についての課題はどこにあたりますでしょうか。

対応2：現状読み取れない形と感じましたので、端的な表現を考えました。

意見3：L3からは手法に入っているように見えます。

対応3：記載の順序を整理し、手法とならない文章としました。

意見4：L3アップデートが必要な課題を記載するのがこの部分なのではないでしょうか。

対応4：記載の順序を整理し、手法とならない文章としました。

意見5：L6「会員に育成システムで得た学びを定着させるため」得られる学びを具体的に記載し、「その後に続けたほうが良いのではないでしょうか。

対応5：課題に対して効果的な手法が伝わるように表現を考えました。

意見6：L7年間のカリキュラムを運用とは具体的にはどのようなことをする予定でしょうか。

対応6：会員のステージ別に教育の材料を用意し、漏れのないように進捗を管理していくイメージをしておりましたが記載を削除しております。

意見7：L8「入会の目的」は入会後ではなく入会前に持ってもらうからこそ入会につながるのではないですか。

対応7：「青年会議所活動だからこそできる目的の持ち方」まで焦点を合わせてもらいたいと考えていますが、言葉選びが不適と感じましたので修正しました。

意見8：2月度例会「会員拡大の際に」や「新入会員に自身の経験を論理的に伝えるために」といった目的を記載したほうが良いのでは。

対応8：何のためにこの手法を通して成長するかを加えました。

意見9：有識者は今のところ具体的にイメージされていますか。

対応9：現状「アチーブメント」様を考えております。

意見10：理念と拡大に直結する話と、自身の経験を組み合わせると目的が伝えられるようになる理由を教えてください。

対応10：講話で理念と拡大の因果を学び、各自の経験と接続して目的を一人称で語る力を養います。「直結」などで文章の流れが分かりにくくなっていると感じましたので、表現を修正しました。

意見11：すごく目的っていう言葉が出てきますが、文章全体における目的とは何を指していますか。

対応11：組織の目的：修練、奉仕、友情を基本として、より良い社会づくりに貢献すること。※総則第三条個人の目的：各会員が「なぜJCに所属し、活動で何を達成するか」を再確認し、各活動に目的意識を持って臨むこと。二層あると考えておりましたが、伝わりづらいかもしれませんので、整理できるように考えています。

意見12：9月度例会の件が、文章つなげようとしすぎて意味が伝わらないと思います。区切ってもいいのでは。

対応12：目的、手法、効果の流れを意識して整理するようにしました。

意見13：L1会員相互で学び、とは、どのような様子を指しますか。

対応13：「会員相互で学び」は、一方通行ではなく、互いの経験や視点を取り入れ合う様子ですが、基本方針内からその表現を削除しました。

意見14：L2これまでも改善を繰り返してきたとありますが、どのような改善をされてきたのか教えてください。

対応14：その表現を削除しました。

意見15：度々登場する育成システムとは、どのようなものを指していますか。

対応15：例えば、セミナーそのものをイメージする方もいるかもしれませんが、セミナーはシステムの一部です。システムは「様々な育成の仕掛け全体」をシステムと表現しています。

意見16：L3　青年会議所の目的に基づいた育成システムとはどのようなものを指しますか。

対応16：目的＝総則第三条（※人づくりを通じて社会により良い変化をもたらす）を実現するために、設計されるものです。

意見17：育成システムによって可能性を指し示すとはどういう意味ですか。

対応17：「こうなれ」ではなくて「こうもなれる」という道筋を見せるものかと思います。

意見18：L6　育成システムで得た学びを定着させるための年間カリキュラムとはどういったものですか。

対応18：年内入会者が互いに復習と実践を重ね、年度末には直近入会者を教える側へ移行する設計です。

意見19：L7　年間カリキュラムはいつ頃作成され、どのように皆へ共有されるのでしょうか。

対応19：通年議案として共有しました。

意見20：L7～8　現役会員が～速度を高めます。これは、育成システムでこういうことをやるという意味ですか。

対応20：「育成システムの一要素としてこういうことを行う」という意味です。

意見21：L8　資質向上とはどのようなことを指すのか教えてください。

対応21：リーダーとしての力が磨かれること、のようなことを考えておりましたが、絞り込みがなく抽象的と感じました。何に効果があるのかを考えました

意見22：L10　有識者による理念と拡大に直結するお話をしていただき、の文章が不自然ですので、　有識者に、有識者から　のほうが良いと思います。

対応22：参考とさせていただき、表現を考え直しました。

意見23：上記、理念と拡大に直結するお話とはどのような内容をイメージされていますか。

対応23：自分の経験を一人称で語る力を磨く講話とワークを考えています。

意見24：Ｌ10～11　この部分で青年会議所での目的を伝えられるようになるイメージが沸かないです。

対応24：効果をイメージできるような表現に改めました。

意見25：9月度例会の部分、文章の前半と後半のつながりがよく分かりません。

対応25：目的、手法、効果の流れを意識して整理するようにしました。

意見26：L15　相手に語ったうえで、それに加えては二重表現ではないでしょうか。

対応26：「言葉で相手に語り、その上で相手を知り」程度で通じる文章と感じました。再考いたします。

意見27：L6まず我々は、まずは、でよいと思います。

対応27：なくても伝わると感じました。削除いたします。

意見28：L18新たな一歩目踏み出す勇気を持てば、新たな一歩を踏み出す勇気を持てば、ではないでしょうか。

対応28：「目」より「を」のほうが適正と感じましたので、修正いたします。

意見29：L19また、さらに多くの多種多様な～とありますが、どこからつながってきた文章ですか。

対応29：全体を通してうまくつなげられるように修正します。

意見30：まずは、そして、さらにというふうに文章が構成されていますが、一連の流れや関連性をどのように考えていますか。

対応30：委員会基本方針作成のための参考資料、中段を参考としておりましたが、慎重に使用するようにしました。

意見31：L1お互いを理解し合う中でどのような成長の機会があるのでしょうか。価値観を知ることでしょうか。

対応31：理解し合うことは「調和」のためではなく、「変化」のため。他者の理解から生まれる自己変革の機会、と考えます。

意見32：L2「学びを加速する」と「成長する」は同意で使っていますか。成長と学びは違うのでは。

対応32：「成長」のために必要なもののひとつが「学び」と考えております。文章の流れとして指摘のように読み取れますので、文章を修正しました。

意見33：L2～3 所属間もない人間だけではなく、歴が長い人間にも必要なのではないですか。

対応33：より深堀と調査を進め、根本的な課題に焦点を当てられるようにいたします。また、暦に関係なく成長と学びは必要なものと捉えます。

意見34：L3ではアップデートが必要とあり、L5では未来を描く必要とあります。どちらが課題として必要なのか分かりません。

対応34：基本方針作成の参考資料を改めて確認し、整理された文章としました。

意見35：L3育成システムはアップデートし続けているのではないでしょうか。(四日市JAYCEEプロJCプログラムなど)

対応35：育成システムとその他のものを同じに感じさせない文章としました。

意見36：L3　青年会議所の目的に基づいた育成システムと日本、JCIが提供しているJCプログラムは目的に基づいていないという理由を教えてほしいです。

対応36：基づいていると考えます。それぞれの役割を明確にしました。

意見37：L4～5　加えてと急に来るがこれが必要な原因の記載がないから分からない。

対応37：理事長所信の言葉から、より深堀と調査を進め、根本的な課題に焦点を当てられるようにしました。

意見38：背景が表面的過ぎる。理事長所信に書かれていることは全体に道しるべであり、それをそのまますればよいということではない。

対応38：承知いたしました。考えを改めます。特に拡大の課題が見えないことについては、他からも意見をいただいておりますので、そちらにもしっかりと意識を向けて取り組んでまいります。

意見39：L7 年間カリキュラムを創れば何故育成システムで得た学びを定着できるのか

対応39：例えば、年内に入会したメンバーは復習と実践を重ね、年度末には直近の新入会者を教える側に回るなど、教え合いの仕組みを用いて定着につなげていきたいと考えております。

意見40：L7 年間カリキュラムを運用します。　の後、違う手法を記載しているのであれば枕詞がほしい。

対応40：このあと、文章も変わってくると考えますが、進めていく中で、メリハリがあり、分かりやすいものを心がけて修正いたしました。

意見41：L8 入会目的がないまま入会している人はいますか。また、他の人の経験を聞けば何故入会の目的が理解できますか。

対応41：対象の表現が誤解を生むものとなっておりますので、表現を考え修正しました。

意見42：L8 速度は高くなるのか、早めるのではないか。

対応42：正しい言葉の選択として「早める」だと考えましたので、修正いたしました。

意見43：L10 直結とは。

対応43：「直結」によって文章が分かりにくくなっていると感じましたので、表現を考え直します。平易な表現を心がけ修正いたしました。

意見44：L13 家庭や社業に何を還元するのでしょうか。そうすることが何故必要なのでしょうか。先輩との交流が何故必要なのでしょうか。背景のどこと関係しているのか、話しを聞くだけで落とし込む、理解することができますか。

対応44：全体との関係がぼやけていると感じましたので、より効果的なものになるように考え直し修正いたしました。

意見45：L14 9月度例会で好循環を生み出していては遅いのではないのか。2→5→9の成長のイメージをもっと持ってほしい。9月で初めて考えては遅いと考える。

対応45：2→5→9の成長イメージを、背景と展望により効果のあるものに考え直しました。

意見46：5月の会場費例年よりも高いがどのような想定なのか。

対応46：昨今の物価高騰の影響もあり4月1日より金額を値上げする可能性がございます。値上げにも対応できるよう、室料が基本料金+前後の延長代が20％ほど足して計算しました。

意見47：通年の会場費の根拠教えてください。また広報費もお願いします。

対応47：会場費は商工会議所小会議室でのアチーブメント様によるセミナー(テーマ別2回、理念共感、拡大)を考えております。広報費については、パンフレットとデザイン変更に関するものです。ただ、基本方針上に記載もなく、各事業についても抽象的ですので、記載を見直し修正いたしました。

意見48：9月は何故2か月前審議なのか、また事業計画書の罫線が切れている。

対応48：対外参加者を募る事業としようとしておりました。罫線を追加いたしました。

意見49：各事業内容についてですが、委員会基本方針よりも詳しく記載をお願いできますか。今のままでは何をしたいのか分かりにくいです。

対応49：イメージがしやすいより具体的な内容へ記載を修正いたしました。

意見50：L19 また、では分かりにくいし、加速するのか、明るい豊かな社会へつなげるのか、どっちがなるべき姿なのか。

対応50：ゴールを一つに絞り、インパクトのある一年になるように修正いたしました。

意見51：同上　今のままではゴールがどのように設定されているのか、2つあって分からない。関連があるなら記載は一考すべきです。

対応51：ゴールを一つに絞り込み、インパクトのある一年となるように修正いたしました。

意見52：L18～最後　すでにいつも目的意識をもっていたり、新たな一歩を踏み出し続けている人もいるがその人は1年後どのような姿になっているのか。

対応52：多様な価値観との出会いを通して「変わる」より「深まる」と考えましたので、そのような人たちにも効果的と考えられる内容に修正いたしました。

第二回理事予定者会議　2025年10月29日(水)

意見1：1行目の目的を持つ会員の思いが共感を生み…という書き出しは何の目的を指しますか。

対応1：会員拡大の目的と考え、記載いたしました。

意見2：L3の部分で意識できている人もいると思いますがこれだと全員に対してを指しているように読めます。

対応2：持っていない人がいる表現を変更し、分かり易い表現にしました。

意見3：L6の有識者とは諸先輩方の事でしょうか。

対応3：現在、アチーブメント様を指す表現として使用しております。

意見4：背景、課題について目的と活動の意識を持つことが課題、仲間を増やすことが課題、つながりが少しわかりづらいですが何が課題として挙げられますか。

対応4：在籍会員が目的と活動の意識をより明確に持ち、対外の人を巻き込み会員拡大することが課題と考え、記載しました。よりわかりやすい表現に変更します。

意見5：自身という言葉が少し多く読みづらいので、一度精査してみてはいかがでしょうか。

対応5：全体のボリュームを確認しながら、自身という文言を削減しました。

意見6：事業内容全般を通して活動内容が様々な方と対話することに読み取れるような気がします。

対応6：まず、他人を巻き込むために自身が変わる仕組みを手法として考えておりましたので、より明確な表現も検討してみます。

意見7：L16のより良い仕組みとは何ですか。

対応7：今まで開催していたものを分割し、対象者が年間で習得し、復習を兼ねた実践するサイクルを考えております。

意見8：「機会の獲得や挑戦への不安を減らすこと」という表現はマイナスの表現に聞こえるので見直してはいかがでしょうか。

対応8：該当箇所の表現を前向きな表現に見直し、文言を変えました。

意見9：多様な発信力とはどのようなことですか。

対応9：固定概念にとらわれず、他の意見を取り入れ、様々な見方で捉えた発言と考えております。

意見10：「教育課程」という言葉は学校教育で使用する言葉なので少しニュアンスが違う気がします。

対応10：該当箇所を違う表現とし、研修計画としました。

意見11：L16～L17のところで既存会員が導き、入会した価値を実感が得られるのではなく、日々の活動や事業を体感し、皆で理念を共感することでやっと真価に近づくのが青年会議所の1フレーズだと思います。背景にも目的と活動を十分に意識できてないという文言があるのでつながらないのではないでしょうか。

対応11：活動や事業の参加に一歩引いている会員の心持ちに変化を与えることができれば、本人に今までなかった魅力を感じることができ、自然と脚が進み、共感が周囲の方々に伝播していくと考え記載しました。

意見12：L10,L18の「不安」という言葉は積極的や前向きという言葉に置き換えたほうがと思いますがいかがでしょうか（不安という言葉を載せない）。

対応12：該当箇所の単語を違う表現に変更します。

意見13：L19の「伝えています」は表現に違和感を感じます。

対応13：一年の終着地点の姿を考え、記載しましたが違う、表現も検討してみます。

意見14： L19～L20　この状態には今もなっていると思います。

対応14：現在もそうであると考えており、さらに波及効果を求め、入会している会員はもちろん、さらに未入会の周囲の方々も巻き込まれ、四日市青年会議所との関係性を作ると考え記載しました。

意見15：L9「前向きな気持ちになるために」の後の文章のつながりが分かりづらく感じます。前文にシニアクラブ交流会や創立記念日などを入れてはいかがでしょうか。

対応15：全体のボリュームを確認しながら、該当箇所を調整しました。

第三回正副理事長予定者会議　2025年10月15日(水)

意見1：L2目的意識を持って活動しているとは、何に対しての目的意識でしょうか。

対応1：一人ひとり、意識に差はあれど、何か目的を持って活動しているということが伝えたいと考えています。

意見2：L2-3会員拡大の目的と活動に対して、とはどのような意味でしょうか。

対応2：前文の幅広な表現から、「その中でも」と、ひとつ絞り込んだ表現をしております。

意見3：L3それぞれの価値観が混在している現状です。のそれぞれとは、会員一人ひとりのことですか。

対応3：会員一人ひとりのことです。

意見4：自身の目的とJCの運動がリンクするからJCへのメリットを感じ、目的意識を持った活動ができるかとおもいますが、いかがでしょうか。

対応4：自身の目的とJCの活動がリンクする→JCへのメリットを感じる→目的意識を持った活動ができると考えております。

意見5：JCを魅力的な組織と捉えているからこそ前向きに会員拡大ができる。というような順序はイメージと異なりますか。

対応5：自分の目的とJC活動がつながり、成長を実感できる人ほど、JCを魅力的に感じて前向きに仲間を増やせます。そのためには、自分の目的と成長を自分の言葉で説明できることが大切と考えております。

意見6：L7青年会議所の目的と自身の目的がどうなれば良いと思いますか。それぞれを単に伝えるだけでは、会員拡大の輪が広がるイメージができません。

対応6：それぞれを伝えるような表現となってしまっていますので修正いたします。自身の目的と青年会議所の目的が結びつき、活動を通して成長した結果、目的達成の未来像を表現できることが大切と考えています。

意見7：L8共有を通してとは、何の共有でしょうか。

対応7：経験や目的意識といったところですが、唐突な表現と感じましたので、修正いたしました。

意見8：L8諸先輩方との交流は、強固な関係を築くためでよいでしょうか。次の文章につながっているのであれば、候補者の記述が唐突な感じがします。

対応8：文中で急に共感する候補者が現れますので、修正いたしました。

意見9：L18意欲的で前向きな姿は、入会目的を自分の言葉で語れるのではなく（それだけにとどまるのではなく）、自然と周囲を巻き込み、会員拡大につながっていくものではないでしょうか。

対応9：「自分の言葉で話せる」が最終的な展望に見えてしまうのはスケールが小さく感じますね。つなげていきたいのは会員拡大ですので、表現を変更いたしました。

意見10：L1継続性は高めるのでしょうか。

対応10：持続性は「保つ」「確保する」のようなものが馴染むと考え、前後も含めて調整します。

意見11：L1課題解決を加速させるという使い方に違和感があります。課題解決を加速させるということは解決するまでの期間を早めるのですか。あと、青年会議所がさせているのですか。しているではなくですか。

対応11：課題解決の一助となるイメージですが、「加速」は唐突な表現で違和感を感じましたので修正いたしました。「させる」についても、やや自己評価がすぎる表現かと思いましたので、修正いたしました。

意見12：L2とL1のつながりが良く分からない。課題解決を加速させているから、どうなるのか教えてください。

対応12：読みづらく、つながりが分かりにくいものとなっておりますので、修正しました。

意見13：L2の目的意識は何に対する目的意識なのか、それと会員拡大の目的と活動がどうリンクしているのか。青年会議所としての目的は共通だけど、会員拡大の目的と活動意識が会員一人ひとりで違うってことですか。会員拡大の目的っていれることに対しては同じではないですか。イメージをおしえてください。

対応13：一人ひとりが、意識の差はあれど様々な目的を持って活動をしておりますが、その中でも会員拡大に向けた目的意識は、意識の強度に差があるというイメージです。

意見14：L4課題がそれぞれの価値観が混在しているということであれば、活動を統一したいという目的があるなかで、次の文章では自身の経験をもとに自らの言葉でという、それぞれの価値観に頼る文章になっているので、課題がどこにあるのかおしえてください。

対応14：一人ひとりが社会をより良くしたいという目的はあるものの、青年会議所活動との接続に強弱があり、弱い会員は日頃の発信においても前向きさを欠くこととなり、結果として青年会議所活動の価値を伝えられないことが拡大活動上の課題です。

意見15：L4～5　課題があるなかで、背景目的としては、自身の言葉で発信すべきなのか、会員自身の前向きな姿勢なのかどっちなのか分からないしのでおしえてください。また、その後の「自らの言葉で～」はL3からの「青年会議所の目的と活動を～」と同意ではないでしょうか。

対応15：どうゆう状況が望ましいのか、端的に表現できるように絞り込んで修正しました。

意見16：オリエンテーションに対する課題が無いように見えます。主に会員拡大に対してのみ。理事長所信では成長や交流の課題も出ている中で、深堀が足りていないのではないでしょうか。「何故「自らの言葉で話す」ことが全員出来ていないのか、何故話す必要があるのかといった深堀が必要かと思います。

対応16：偏りが強くなっているようなので修正いたします。改めて、各課題に対しての深堀りと、つながりを考え直しました。

意見17：L6講師を招いて何をしたら、会員拡大に結び付くのが学べるのか記載が必要かと。手法はあっても効果の記載がなく、結果が書いてあるからどう考えているのか分からないので、記載するかイメージをおしえてください。また、ここで講師と書くと、もし議案が変わったり修正ができないし。講師ありきで考えているようにも見えるので、具体的すぎる手法は削除した方が良いのではと思います。

対応17：課題に対しての効果を明らかにし、講師の表記についても考え直しました。

意見18：L8自身の言葉で話せるようになったら、何故自ら進んで会員拡大を行えるようになるのか教えてください。

対応18：えられる→自ら進んで、…は少し飛躍しすぎているように思いますので、考え直しました。

意見19：L8共有とは何を共有するのか教えてください。

対応19：経験や目的意識といったところですが、この箇所において、唐突な表現と感じましたので、修正いたしました。

意見20：L9すでに強固な関係を持っているのでは。強固な関係とはどのような状態を指すのか主語がないから分からないです。候補者との対話の中で共有するのでしょうか。候補者に共感を広げることが何故、新たな可能性を生み出すのでしょうか。また、これまで理念共感で拡大してきたことと何が違うのか教えてください。

対応20：既にございます。一人ひとりに視点を変えると関係が薄い方もいるというイメージでしたが、現状、ただ関係が無いように見えますので、表現を修正いたしました。

意見21：L11対外参加者と候補者の違いは何でしょうか。ここの文章とL9～10の文章の違いが分からないのでおしえてください。

対応21：青年会議所での活動を通して成長し、自身の目的達成のビジョンを候補者との対話を通して、ともに描けることが、拡大につながると考えております。そうゆう意味では、共有や共感のみで説明がつきづらく曖昧な文章となっておりますので、修正いたしました。

意見22：相互に共感とあるが、L10の候補者にも共感を広げながらの時点でできているのではないですか共感とはどういう定義で、どのようなことを想定してるかおしえてください。

対応22：対外参加者は、参加者を幅広に募りたいときに、対象に幅があったほうが良いかと考えましたが、対象の絞り込みも視野に文章を改め修正いたします。

意見23：より良い仕組みで運用とあるが、何を運用するイメージか教えてください。

対応23：自身の言葉が相手に響くイメージをしておりましたが、安易に使用すると具体性に欠け、混乱を生みますので、整理して表現できるように修正いたしました。

意見24：また、改めて学びなおす必要がどこにあるのか教えてほしいです。

対応24：通年議案の四日市JCプログラムや四日市JCセミナーを中心としたものを指します。また、「経験を重ねている会員もあらためて学び直し」はやることに対して違うイメージがありますので修正します。どちらかというと、経験を重ねている会員は、背中を押したり、巻き込んだりする部分に学びがあると考えております。

意見25：L13以降は背景目的のどこにあたるのか教えてください。

対応25：手法の必要性を感じる文章に修正いたします。

意見26：L17 描くだけで実感はできない。経験が必要ではないでしょうか。

対応26：描き、活動や機会の中で目標に向かえていることが大切と考え、表現を修正いたしました。

意見27：L15 あらためて　→　改めて

対応27：修正いたしました。

意見28：L18～　前向きに行動する姿で語れるように「なる」のではなく、「なっています」と自然になるような感じなのか。意識してなるのではないということでよろしかったでしょうか。

対応28：自然と…なっていますという表現は、何もしていないように感じるので、修正いたしました。

意見29：最後の姿は会員一人ひとりの姿と組織の姿を別々で表現していると思うが、今のままでは主語なくて、どのような想定なのか分かりにくいので、一考してください。

対応29：最後の部分は、会員一人ひとりの姿と組織の姿を別々で表現し修正いたしました。

第三回理事予定者会議　2025年11月20日(木)

意見1：自身のという単語がよく出てきているので、まとめてあげるとより読みやすくなると思います。

対応1：文章の表現を変更できるところで修正いたしました。

意見2：背景のL2からL4行目の部分が漠然としていて、わかりづらいのでもう少し付け加えてあげると良いと思います。

対応2：表現の仕方を変更しました

第四回正副理事長予定者会議　2025年11月27日(木)

意見1：1行目の青年会議所ではなく、「本会議所」と記載した理由を教えてください。

対応1：話を絞り込みたいところもあり、本会議所といたしました。

意見2：3行目の事実としたエビデンスを教えてください。

対応2：ここでの「事実です」という表現は、日頃の対話などから見えている実感に基づいています。例えば、目的を聞かれても「うまく言葉にできない」という声が複数あったことや、例会や事業の場で「とりあえず参加している」というニュアンスの発言が出ていることなどから、目的と活動のつながりを十分に意識しきれていない会員も一定数いると捉えています。

意見3：1行目の欠かせないことは青年会議所「運動」、3行目から4行目の課題に対する答え目的は「活動」この使い分けを教えてください。

対応3：この運動は、自己成長とともに地域社会の課題解決に取り組み、より良い社会を創造しようとする集団的な行動を指しますが、3－4行目は視線を目の前に落とし、ひとつひとつの日々の活動と自分の目的としています。

意見4：4行目実現「には」目的のような表現にも見えますがルールとして良かったのでしょうか。

対応4：「には」は記載ルール上使用不可とはなっておりません。しかし、目的とも捉えられることや手法のように読み取れるので修正いたしました。

意見5：5行目の目的と活動のつながりが明確になれば、何故仲間を増やす必要があると理解できるのか教えてください。

対応5： 目的を持ち、活動する仲間が一人でも多くいる状態は、より良い社会につながります。一人でできることもあるかもしれませんが、そんな人財が溢れる地域は必ず良くなります。

意見6：背景に「必要」が二つあるのですが、同じ仲間を増やす必要があるとなっておりますが、同じ文章が続くことに違和感があります。結局すべきなのは仲間を増やすことを理解することが重要なのか、仲間を増やすこと自体なのか。

対応6：ともに高め合う仲間を増やすことですが、必要が続いているのは文章としておかしいと思いましたので検討し修正いたしました。

意見7：5行目の基盤と軸のイメージが分かりませんので、教えてください。

対応7： 個人の主体性は基本的に必要なものとして基盤と表現しました。活動を通して得られる共感や、仲間との関わりを深める中心的な働きを持つため、それを軸としています。「主体性という土台の上に立ち、共感という芯を通していくことで、仲間が増え、運動が広がっていく」というイメージです。

意見8：5行目のともに高め合うとは何を高め合うのか教えてください。

対応8： それぞれ高めたいものが違いますので、何をというのが難しいですが、互いに背中を押し合い、成長していく様子を表現したいところではあります。

意見9：上段の背景が大きく修正されているが、それに伴う手法の部分の修正が少ないように見えます。背景目的が変わればその手法も一緒に変わるのではないでしょうか。

対応9： 文章表現のところで多く修正を加えております。

意見10：9行目　想いの共有とは何に対するどういった思いなのでしょうか。また、接続詞について、想いを共有し、さらなる関係を築くために、で十分に通じるのではないでしょうか。

対応10：「自分はこうゆうことをしたい」と話せる状態となっており、先輩からは「自分はこんな成長を遂げた」という背中を見せていただくものです。表現について検討し、修正いたしました。

意見11：9行目のさらなる関係とはどのような関係なのでしょうか。

対応11：ただの現役、先輩ではなく、自分の目的の背中を押してもらえる、先輩の背中を自分の目標として追いかけたくなる関係です。

意見12：10行目-12行目のここはシニア交流の例会だと思うのですが、ここに候補者を呼ぶという認識で良いですか。

対応12：候補者も呼びたいと考えておりますし、先輩方も連れてきてもらえるような内容としたいと考えております。

意見13：10行目　将来像をイメージ出来たら拡大の可能性を生み出すのでしょうか。またイメージしただけで変化と成長になるのでしょうか。経験することでしかできないと思います。

対応13：一歩踏み出すことで実感できるような、アクションも含めた表記といたしました。

意見14：12行目多様な発言力とはどのようなものですか。

対応14：多様な目的や価値観を持つ相手に寄り添い共感を生み、巻き込みが生まれるような発信力です。

意見15：13行目ともにが「共に」になるかと思います。

対応15：該当箇所を修正いたしました。

意見16：15行目　何を学びなおすのか分かりません。

対応16：全員に学びをというイメージでしたが、まわりくどい表現となっているため、修正しました。

意見17：16行目は新しいセミナーなどは行わず、今あるものをブラッシュアップするという認識でいいですか。

対応17：そのような認識です。

意見18：17行目　経験豊富な人が導かなければならないのか。背景には「主体性」が重要であるとあるのに、最後は自ら成長の機会を得るのではなく、未知が気をもらっているが、本当にこれで良いとも思います。

対応18：導いていく、背中を押していく、そういった機会は、どんな人にとっても簡単なことではないと考えております。

意見19：17行目　前もつたえたと思いますが、描くだけで、価値を実感できるのか

対応19：描き、一歩踏み出すことで実感できる、のようなアクションも含めた表記といたしま。

意見20：入会した価値の実感が　誰の　何を　成長させるまでしますか。

対応20：成長することにより入会した価値を感じることかと思いますので、表現を改めました。

意見21：実感することが人を成長させるのか。成長することにより入会した価値を感じることができるのではないのか。

対応21：成長することにより入会した価値を感じることかと思いますので、表現を改めて修正しました。

意見22：背景に対する手法の部分がどこにつながって、どこで解決できるようになるのか分かりにくいです。より良い社会の実現のためには仲間を増やす必要があるのはその通りで、何故そうしなければならないのかという部分で深堀ができていないように見受けられます。また、共に高め合う仲間を増やすために会員の多様な発言力が必要なのでしょうか。そして、オリエンテーション委員会として、オリエンテーションが必要な理由はどこにあるのか教えてください。

対応22：目的と活動のつながりが見えにくいという課題を示し自分の目的を言葉にし、先輩や候補者、対外参加者との対話や研修を通じて、そのつながりを整理し直す場をつくることで解消していく流れとしています。仲間を増やす必要性は、限られた人数では取り組める事業や役割に限界があること、多様な人財が集まることで地域課題への解決と運動が高まる、という考えです。多様な発信力は、会員一人ひとりが自分の目的や経験を自分の言葉で伝えられるようにするための手段であり、その結果として共に高め合える仲間との出会いにつながるものと考えています。委員会としては、日々のオリエンテーションだけでなく、「自分はなぜこの組織で活動するのか」という個々の目的と活動のつながりを自覚する場を設けることが役割です。

意見23：19行目　未来像と将来像の違いは何ですか。

対応23：使い分けについて考え、基本的には統一する方向で修正しました。

意見24：19行目多くの仲間が集まる青年会議所になります。と20行目の会員が集う四日市青年会議所になります。は違いは何ですか。青年会議所と四日市青年会議所、本会議所の使い分けを教えてください。

対応24：使い分けについて考え、基本的には統一する方向で修正しました。

意見25：L4つながりが明確になるほど仲間を増やす必要があると理解できるはやや唐突に感じます。

対応25：間を埋める表現について考え、修正いたしました。

意見26：L5　個人の主体性を基盤に活動の共感を軸とするという表現がありますが、どのようなイメージでしょうか。

対応26：個人の主体性は基本的に必要なものとして基盤と表現しました。活動を通して得られる共感は、仲間との関わりを深める中心的な働きを持つため、それを軸としています。「主体性という土台の上に立ち、共感という芯を通していくことで、仲間が増え、運動が広がっていく」というイメージです。

意見27：L6　パートナーとはどのような方々を指しますか。

対応27：理解のある方というイメージでしたが、誤解を生みやすい表現かと考えましたので修正いたしました。

意見28：L6　ここでの目的は共感を生むことでしょうか。共感を生み仲間を増やすために、パートナーを招き、自身の経験を自身の言葉で伝えることが会員拡大に結び付くことを学びます、という文章のほうが明確な気がします。

対応28：具体的な提案をありがとうございます。修正いたしました。

意見29：L9　先輩方との交流は、先輩方との関係強化でしょうか、先輩方の経験や想いを聞くことで会員拡大に向けた自分自身の意識向上や考え方の整理でしょうか。

対応29：関係強化もひとつですが、自身の目標のアップデートの機会にと考えております。

意見30:L17　成長をさせます→成長を促しますとかどうでしょう。

対応30：具体的な提案をありがとうございます。修正のヒントとさせていただきます。

意見31：L18　自身、自分は統一してもよいかと思います。

対応31：使い分けについて考え、基本的には統一する方向で修正しました。

意見32：L19-20青年会議所となります。青年会議所になります。と語尾が重なっているので、表現一考されてはどうでしょうか。

対応32：重複しておりましたので、文章を整理いたしました。

意見33：L15「学び直し、」とありますが、全員に学ぶ機会を提供するという表現のほうがあっていると思います。

対応33：具体的な提案をありがとうございます。意見を基に修正します。

意見34：L16「より良い仕組み」とはどのようなイメージですか。

対応34：理事会のサテライト会場案や、LINE公式アカウントを通した最初期のオリエンテーション、細分化した四日市JAYCEEプログラムなどを指します。

意見34：L16「経験豊富な会員が導き、入会して間もない会員は経験を重ねていく」とありますが、ここだけではないはずです。だれがどのように導くのかを考えてほしいです。

対応34：表現を変更し、修正いたしました。

意見35：18L「相手に寄り添う」ということが急に出てきたイメージですが、どこからここにつながるのでしょうか。

対応35：所信の言葉を使っており、抽象的な表現と感じさせてしまっているかもしれません。相手のやりたいことや課題感など、相手を知るようなイメージを持っております。

意見36：【年間事業概要一覧表】ここで記載のJCプログラムは「四日市JCプログラム」のことですか？もしそうであれば表記の変更をお願いします。

対応36：修正いたします。

意見37：【年間事業概要一覧表】現状でオブザーバーや対象者を呼んで行う例会事業はありますか。

対応37：5月、9月を予定しております。

第四回理事予定者会議　2025年12月8日(月)

意見1：なし。

対応1：なし。